

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	児童発達支援ひだまりっこ					公表日	R7年3月15日	
	チェック項目	評価				工夫している点	課題や改善すべき点	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない			
環境・ 体制 整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	16			1	・利用者様の課題、適正に合わせて部屋を分けている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	16		1		・一対一だとベストかもしれないが、出来る限りの最大限の配慮を考えて整えていただいていると思います。 ・マンツーマンでなくて動きやすい。 ・業務開始前（利用者受け入れの前）はスタッフ同士で配置について話し合っている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	13	1	2	1	・てすりや子どもトイレなど配慮している。	・一つの部屋を二つに分けたので奥の部屋に手洗い場なくなり少し不便。・必要に応じて実態に応じて。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	16			1	・利用者様の退園後、部屋の掃除をしている。月末に必要に応じて掃除をしている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	14		3		・体調不良時はスヌーズレン部屋、落ち着きたい時はベンチスペースなど限られた環境でも柔軟に対応使用できるようになっていると思います。 ・個室として使えるお部屋が足りないなかで工夫していると思うが。	
業務 改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	15			2	・業務終了後にその日の振り返り、月末ミーティングで振り返り実践をしている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	15			2		・実施している事業所アンケートを基に支援内容の精査を行っていきたい。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	15			2	・毎月のミーティングや年に数回スタッフ面談を実施している。	・ミーティング、職員面談、アンケート等の手段をとり今後の業務に活かしていきたい。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8		1	8	・第三者委員が決められていることは掲示もされているし契約書で知っています。	・全スタッフが周知できるよう伝達方法等工夫していきたい。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	17				・掲示物での研修の告知、参加が行われている。	
適切 な 支 援 の 提 供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	15			2	・HPにて公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	16			1	・専門職が作成に従事している。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	16			1	・なさってくださっていると思います。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	17				・ロッカーかごや事務所での閲覧など共有しやすくしていただいています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	13			4		・契約時にアセスメントを実施。他関係機関の情報なども共有し利用者さまに合致した支援計画を作成。支援にあたっている。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	15			2	・ガイドラインにのっとり支援計画を作成し、モニタリングを行い修正や設定を行っている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	16			1		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	16			1	・スタッフのアイデアにより活動が決められることもあり、固定化せずに工夫されている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	17					

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	15		1	1	・出勤時間が違うので全員への打ち合わせが難しく引継ぎ事項があれば個別・部屋別で共有するようにしている。・常勤職員間では情報共有を行い、スタッフにはボードなどでお知らせするようにしている。	・打ち合わせはしているが充分なのかはわからない。・ナースステーションでのナースの申し送りの全体把握機会があったらいいと思います。朝、その日出動したスタッフで軽く一日の流れ等を話している。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	14	1		2	・個人別引継ぎシート、スマホアプリ、スタッフミーティング報告の共有など実施している。・保護者への報告は常勤職員が確認し送信している。共有している。	・報告書を書きながらその日の情報を共有しているが全員ではない。その日の記録を打ち込みながらスタッフ間で話ができればする。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	17					
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	14			3		・個人面談を実施して計画の見直しなど何っている。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	16			1		・管理者、児童発達支援管理責任者が参加している。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	13			4	・近隣の保育園、子どもおもちゃ図書館での交流の機会がある。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	17					・必要に応じてサービス担当者会議、関係機関に外向き情報共有を行っている。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	16			1		・毎年実施している。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。						
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。						
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。						
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	4			13	・児童発達支援センターの連絡協議会、研修会に職員が出席し研鑽、助言を受ける機会を持っている。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	17				・近隣保育園やカフェでのおもちゃ図書館やイベントなど自分たちが出向くことも招くこともどちらもあるのがよい。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	17				・どの先生もリトムやKidslyでご家族からのささいなコメントやご質問までしっかり答えていてすごいと思う。	
保護者への説明等	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	16			1	・(法人全体として)家族支援として年間予定で保護者向け研修会・勉強会を開催している。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	14			3	・なさっていると思います。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	14			3	・利用者ご本人の希望・意向については保護者面談で確認している。年に3回保護者面談月一回の参観週間を設け意向を伺っている。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	14			3	・面談時に毎回確認している。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	15			1	・毎日の連絡帳や電話の相談も随時受け付けている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	15			2	・きょうだい参加の保護者会やレク大会、(笑福祭)など従業員ですがいつも楽しみます。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	16			1	・自事業所だけでなく拠点相談支援センターや当法人の関係機関とも連携している。	

	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	16			1	・事業所内のおたよりやスマホアプリの他、法人の通信、HPなどで発信している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	17				・適切に取り扱うよう注意している。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	17					
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	17				・笑福祭・カフェ・その他地域住民の参加できるイベントがある。	
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	17					
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	15			2	・BCPマニュアルを作成。活動室内に保管閲覧できるようにしている。訓練、研修も実施している。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	17					
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	14	1		2	・していると思います。	・保護者から今年度途中で、一名食物アレルギーの連絡があった。今後、医師の指示書が必要なケースがあったら対応していく。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	17					
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	15			2	・DVD鑑賞で子どもたちに安全研修を実施。保護者にはおたよりやチラシを配布している。	
51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	16			1	・法人のリスク会議に出席している。毎月の事業所ミーティングで話し合っている。		
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	16			1	・虐待防止研修、動画視聴、アンケートなどに取り組んでいる。		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	15			2	・なさっていると思います。		
非常時等の対応								